

平成27年度地域包括支援センター 活動状況について

平成28年度第1回大阪市地域包括支援センター運営協議会
平成28年6月24日(金)

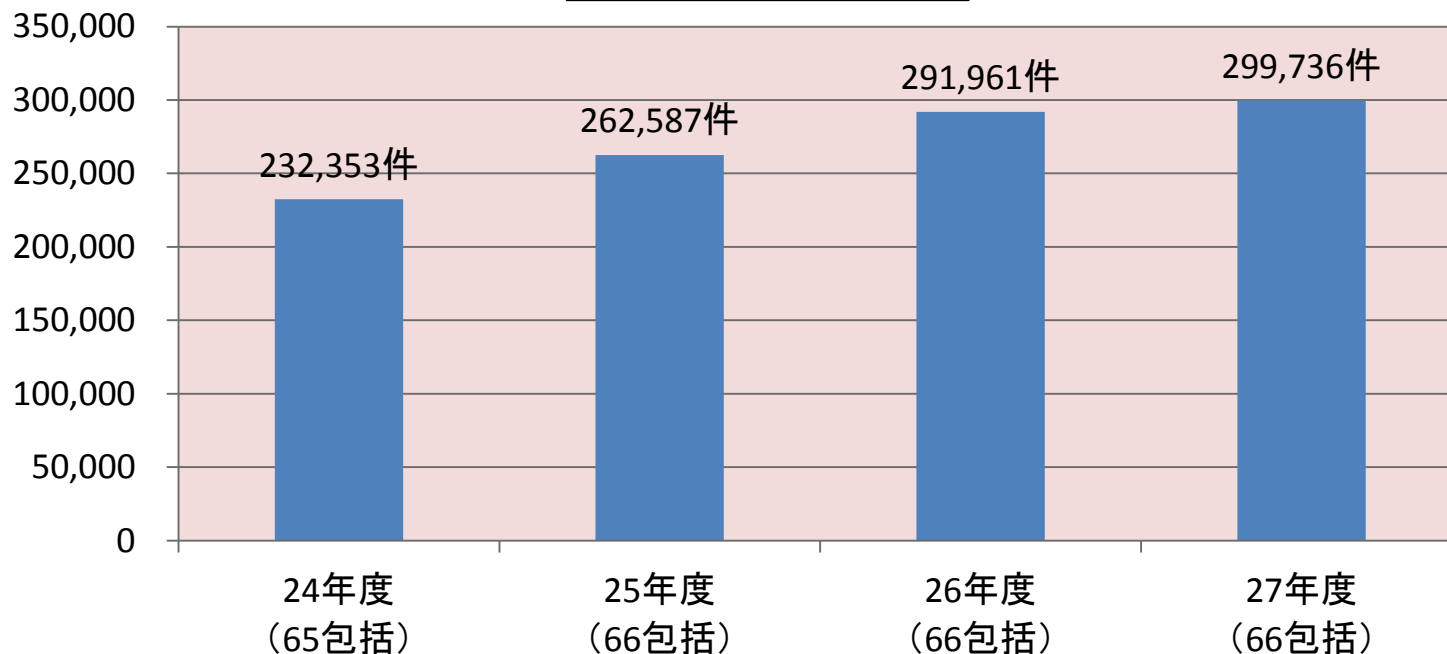
大阪市社会福祉協議会 福祉総括室 地域福祉課

(1) 高齢者の総合相談(包括)

①-1 相談延べ件数

- ・平成27年度の延べ相談件数(包括1カ所あたりの平均)は平成26年度に比べ約**2.7%**増加している。
- ・包括の複数設置により、地域に密着したよりきめ細やかな相談ができていると思われる。また、包括の知名度も上がってきていると考えられる。

延べ相談件数総数

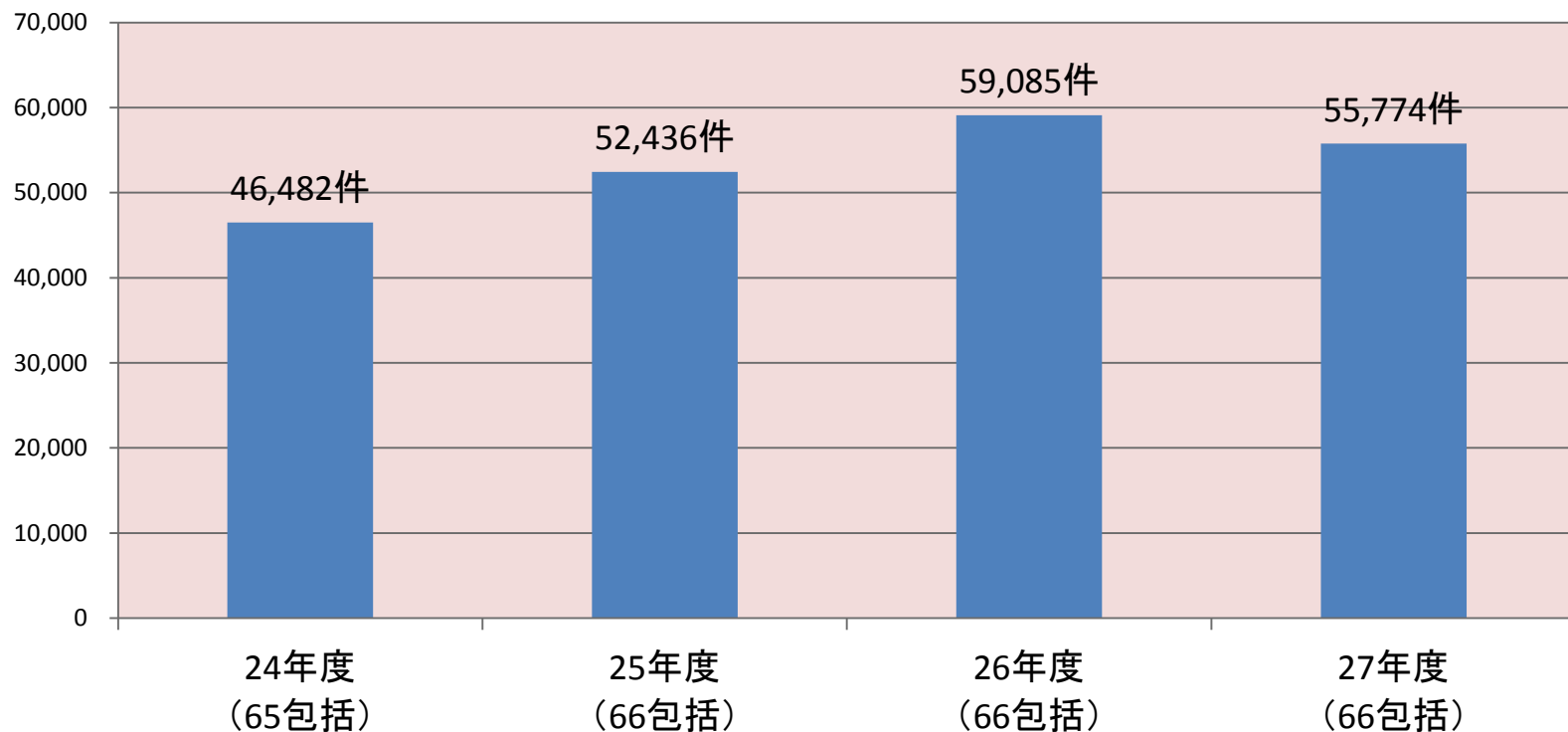


(1) 高齢者の総合相談

①-2 相談実人員

- ・相談実人員は若干減っている。包括単位で見ると増えている包括もある。

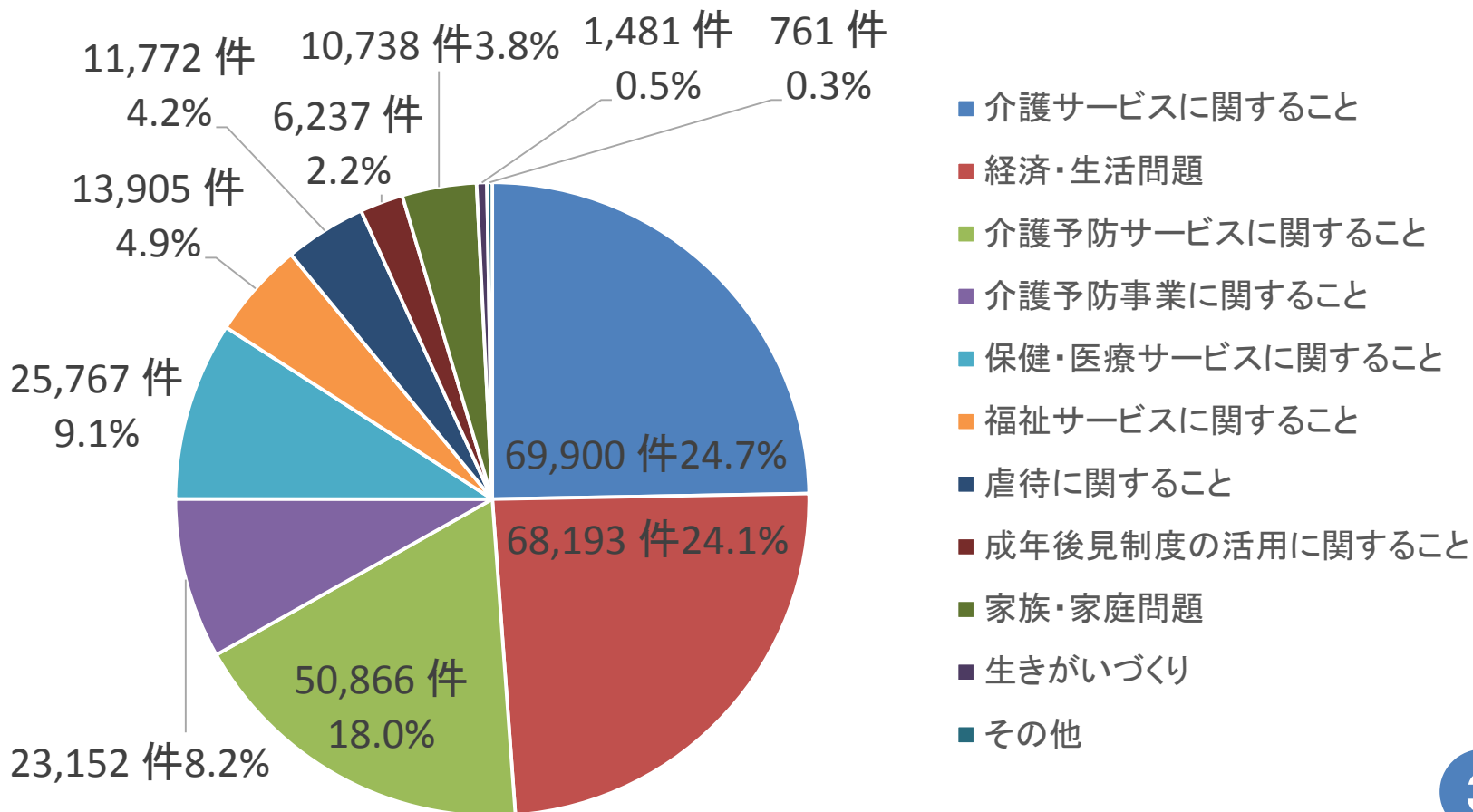
相談実人員総数



(1) 高齢者の総合相談

①-3 総合相談内容(平成27年度)

・前年度に比べ「経済・生活問題」が増えており、「介護予防事業に関する
こと」が減っている。



(1) 高齢者の総合相談

② 総合相談内容からの考察

- ・前年度と比較し、**約7割**の包括で相談件数が増加している。
- ・相談実人員の**約4割**が訪問による相談となっている。
- ・相談実人員における訪問件数が多い包括は、**訪問**によりアセスメントを深めるよう意識されており、**アウトリーチ**に重点をおいている。また、交通手段が少ないなどの地域の条件より訪問による支援が必要となっている包括もある。

相談実人員における訪問相談の割合が高い包括

- ・淀川区西部(63.8%)
- ・さきしま(60.6%)
- ・旭区西部(60.1%)

- ・1人当たりの相談回数が多い包括は、必要に応じて関係者等にも連絡・連携を丁寧に行っている。
認知症の疑いのあるケースが多い。

1人当たりの相談回数が多い包括

- ・鶴見区(10件)
- ・住吉区北部(10件)
- ・都島区(8件)

- ・高齢者人口に占める相談実人員の割合が**10%**を越えている包括が15か所あり、**身近な相談窓口**として浸透してきていることがうかがえる。

高齢者人口に占める相談実人員の割合が高い包括

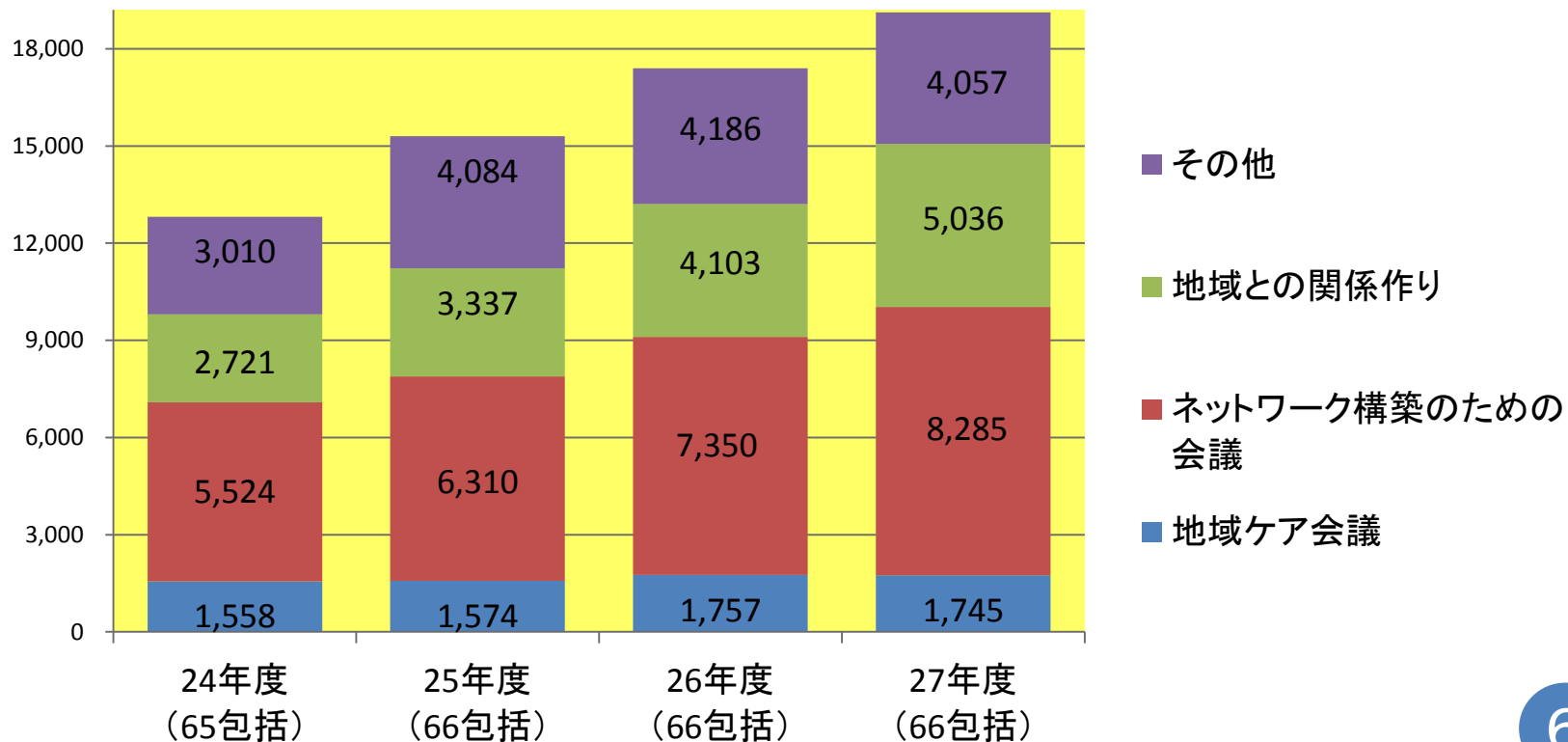
- ・鶴見区(12.0%)
- ・東生野(11.7%)
- ・鶴橋、西成区東部(11.6%)

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

①-1 会議開催・参加状況

- ・会議開催の総数も年々増加しており、地域との関係づくり、ネットワーク構築の会議で増えている。

会議開催数(総数)



(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

①-2 会議開催・参加状況(地域ケア会議)

1. 個別ケース検討の地域ケア会議

開催回数
1362件

- ・個別ケース検討の地域ケア会議では、継続した支援の中で、支援経過の確認や危機介入の時期の検討など、モニタリングの地域ケア会議も開催されている。
- ・個別ケース検討の地域ケア会議開催の多い区
 - ・西淀川区(33回)
 - ・都島北部(31回)
 - ・東住吉区(31回)
 - ・西区(30回)

2. 事例検証・ふり返りの地域ケア会議

開催回数
115件

- ・開催形態としては、「地域ケア会議のレビュー会議として、スーパーバイザーを招いて実施している」「年度の特徴的な事例を取りあげ、小地域ごとにスーパーバイザーを招いて検証している」などがある。
- ・支援者や関係者のスキルアップにつながっている。
- ・地域課題の集約につなげている。

振り返りの地域ケア会議の開催数の多いところ
西区(11回)

3. 見えてきた課題のまとめの地域ケア会議

開催回数
268件

- ・個別支援の地域ケア会議から見えてきた地域の課題を集約し、共通した課題をまとめ、地域の関係者に報告し、取り組みを検討していく会議。
- ・地域の関係者に報告する際に、パワーポイントなどでわかりやすく説明する、白板を効果的に使って事例を紹介するなどの**伝える工夫**がされている。

見えてきた課題のまとめの地域ケア会議の開催数の多いところ
淀川区(47回) 東生野(31回)

①-3 個別ケース検討の地域ケア会議の特徴的な事例1

アンケート調査を活用した参加しやすい
地域ケア会議に向けた取組み

西淀川区
包括

平成26年度からの取組み

地域ケア会議終了後に実施したアンケート調査のフィードバックや居宅介護支援事業所への訪問を通じて、よりよい個別の地域ケア会議の取組みへとつなげている。

地域ケア会議に関する研修会



地域ケア会議後のアンケート
実施と報告



居宅介護支援事業所への訪
問活動(事例検討)

「地域ケア会議に参加して良
かった」という成功体験をフィー
ドバック



ケアマネジャーが抱える困難
ケースが早期相談に。
地域ケア会議運営のスキル
アップ。

①-3 個別ケース検討の地域ケア会議の特徴的な事例2

個別事例の地域ケア会議から地域課題の普遍化への取組み	平野区 包括
-----------------------------------	-------------------

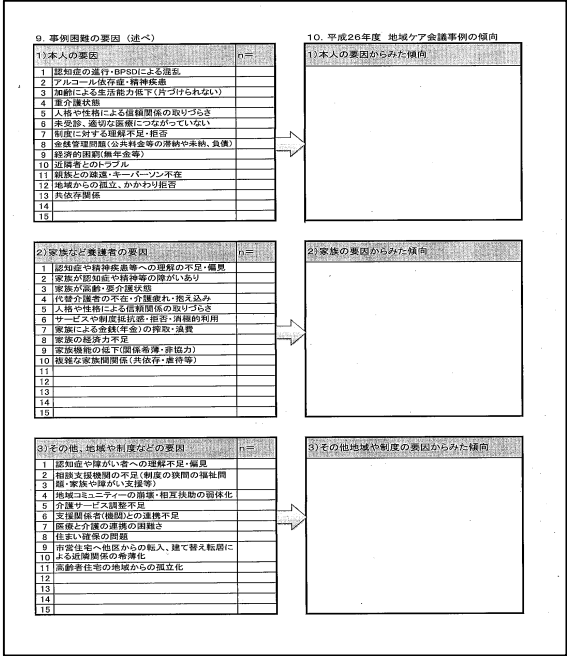
平成27年度からの取組み

個別ケース検討の地域ケア会議を2部構成とし、地域住民と地域課題の普遍化に向けた取組みを展開するとともに、事例への関わりのスキルアップにもつなげている。

地域ケア会議を、1、2部に分けて開催

1部：個別事例の共有と検討

2部：地域課題の普遍化
 事例の支援を困難にしている要因を本人、家族など養護者、地域や制度の要因に分けて検討



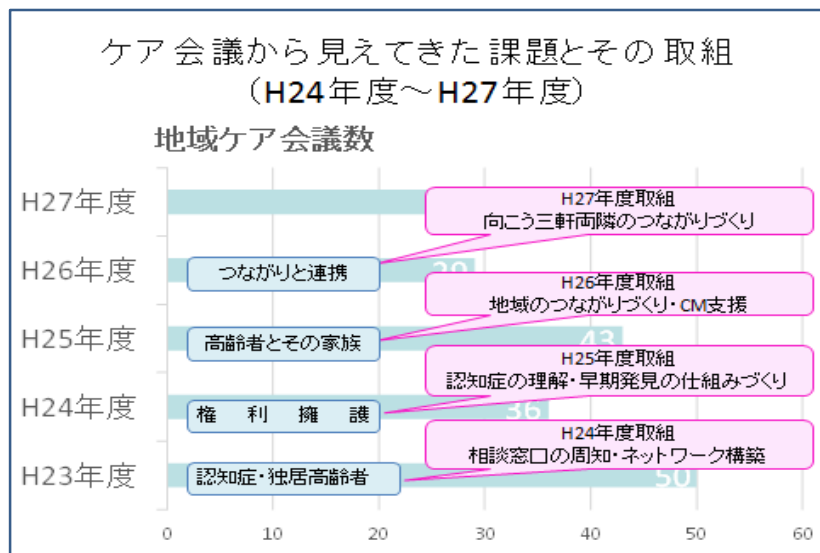
①-3 見えてきた課題のまとめの地域ケア会議の特徴的な事例1

定期的な小地域ケア会議で展開するPDCAサイクルの取組み

淀川区
包括

平成24年度からの取組み

小学校区ごとに小地域ケア会議を継続的、定期的に開催。包括の総合相談や個別の地域ケア会議から見えてきた課題に対する課題に対する取組みを地域の方とともにふり返り、次年度の取組みにつなげている。



「地域ケア会議等から見えてきたニーズ」→「目標」→「実施内容」→「達成状況」が見えるシートを作成し、地域住民とともに前年度の取組みを振り返りながら次年度の取組みに反映させる流れを経年で積み重ねている。

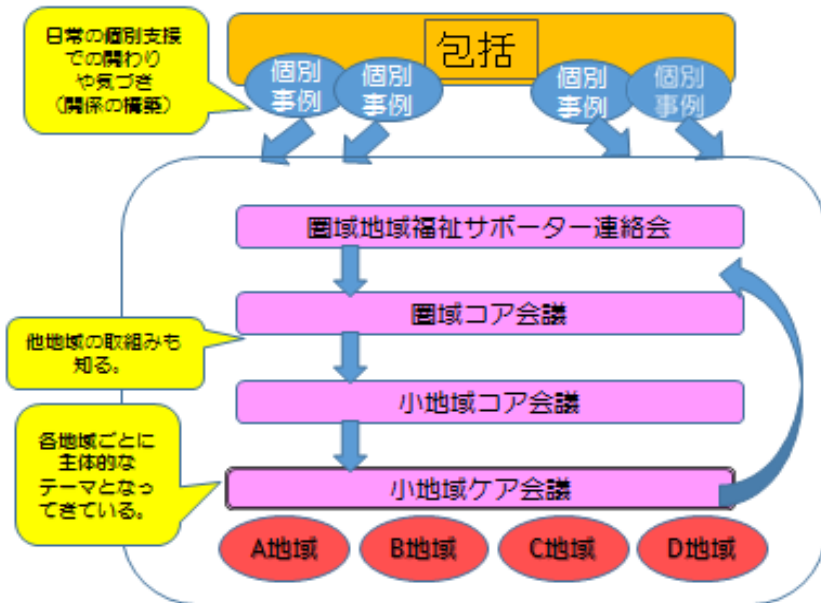
①-3 見えてきた課題のまとめの地域ケア会議の特徴的な事例2

地域住民と創る小地域ケア会議の継続的な開催

東住吉区
中野包括

平成23年度からの取り組み

小学校区ごとに小地域ケア会議を継続的、定期的を開催し、地域、行政、専門職の顔の見える関係づくりから地域課題の解決に向けた協働を進めている。



平成25年からは、地域ごとに議題や取り組む内容について検討。地域ごとに特徴的な取り組みも進んでいる。

例) 地域と大学のコラボレーション

認知症のことを知りたい

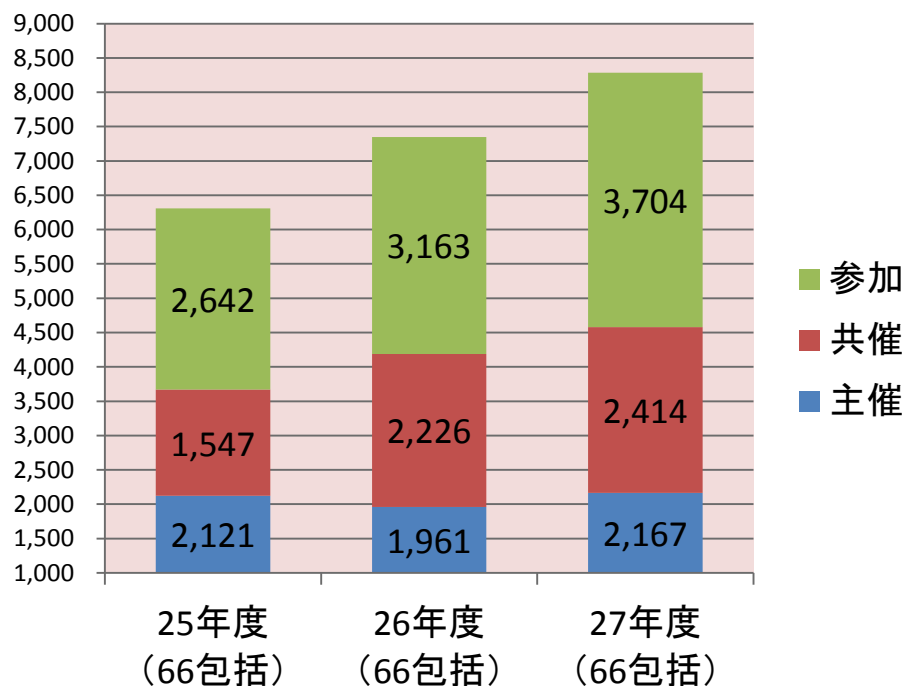
見守り相談室との連携など

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

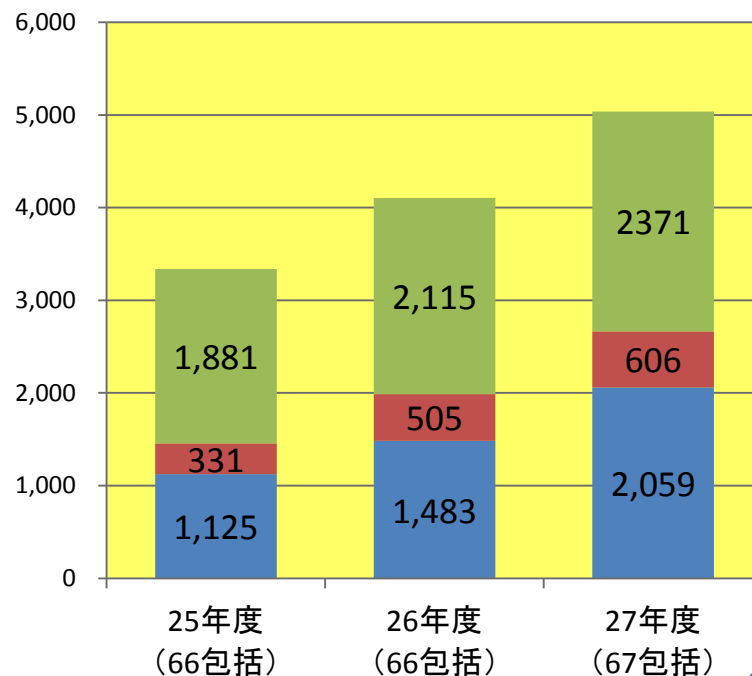
①ー4会議開催・参加状況(その他NW構築・地域との関係づくり)

- ・その他NW構築の会議が12%、地域等との関係づくりに関する会議が22%増えている。

その他NW構築のための会議



地域との関係づくり



(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

② 会議開催・参加状況についての考察

- ・会議開催の合計数は、平成26年度に比べ**約10%**増加。
- ・その他NW構築の開催数も増えており、参加も増えてきている。それぞれの区や地域における様々なネットワークが**増えていたり活発になってきている**と考えられる。
- ・既存の地域の集まりだけではなく、広く一般の方が立ち寄る**郵便局、病院、スーパー、コンビニ**などにも訪問し、包括の周知をおこない、見守りの眼を広げている。
- ・認知症カフェや2次予防事業修了者の方向けのつどいの場づくりに取り組み始めている。

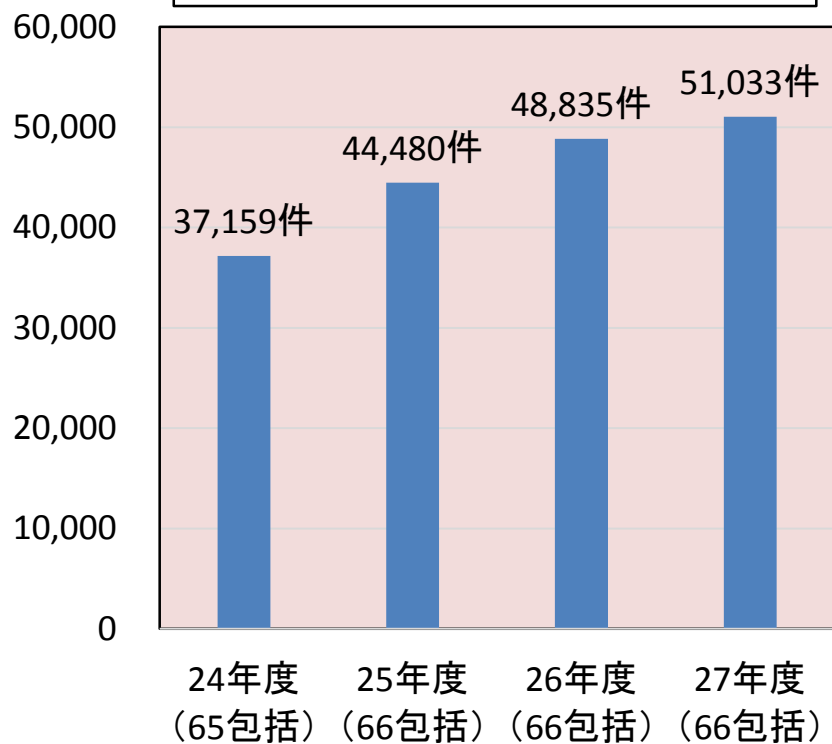
※地域密着型サービス運営推進会議への参加については、圏域内の該当施設の有無や設置数の違いにより、参加回数が**0回～58回**と包括により差が大きいが年々増加している。

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

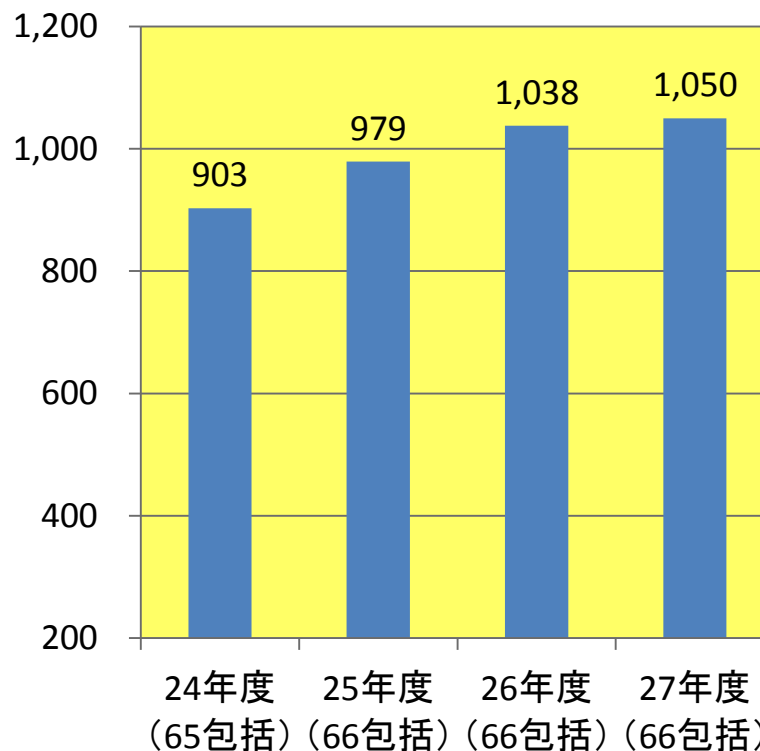
③ 介護支援専門員への支援

- ・居宅介護支援事業者連絡会の開催・参加の増加に比例して、**介護支援専門員個別相談件数も増加している。**

介護支援専門員個別相談件数
(総数)



居宅介護支援事業者連絡会の
開催状況

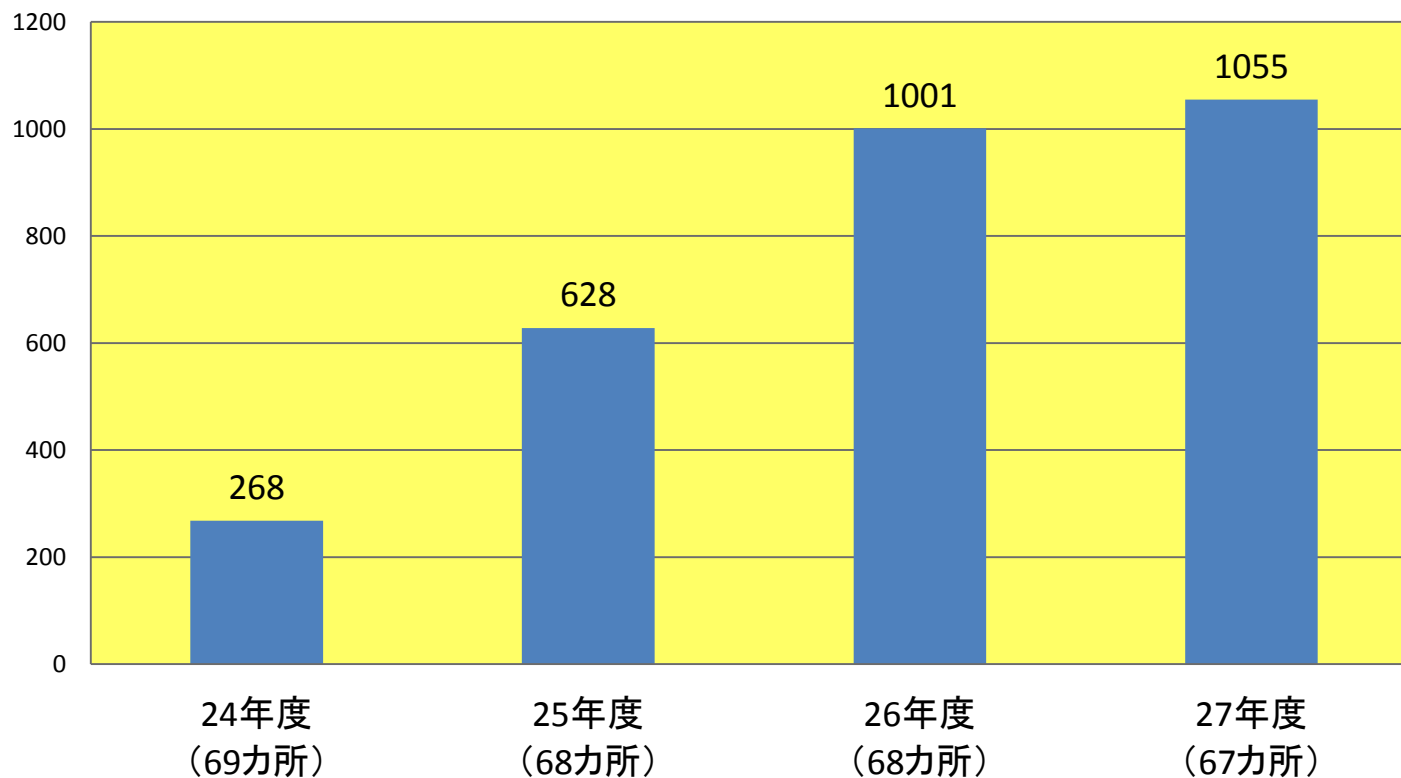


(3) 総合相談窓口(ブランチ)

① 相談延べ件数

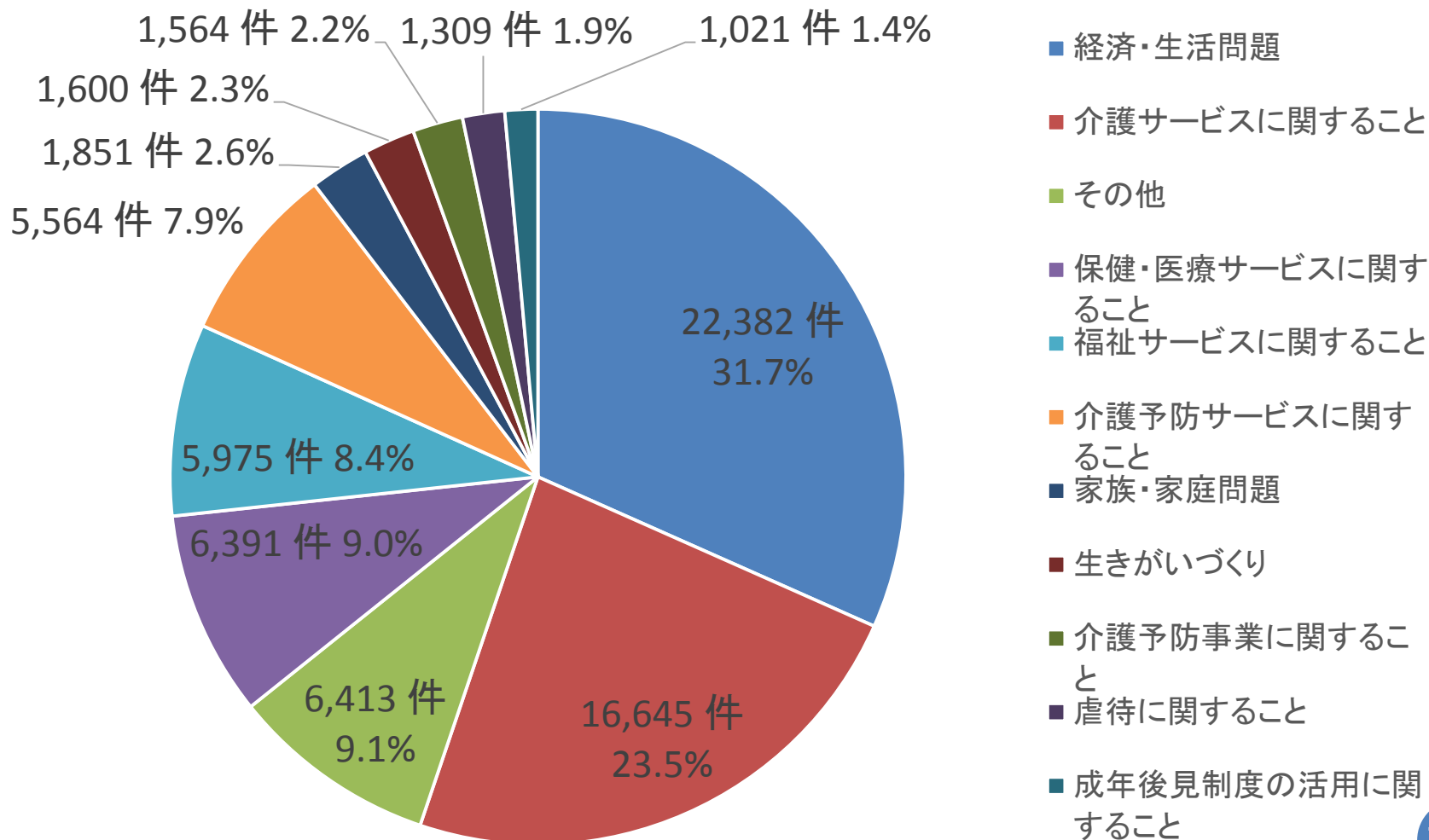
- ・平成25年度より相談員の1人配置移行にともない、ブランチ1カ所あたりの延べ相談件数は増加している。

延べ相談件数(1ブランチあたり)



(3) 総合相談窓口(ブランチ)

② 総合相談内容(平成27年度) 延べ相談件数の内訳



～包括連絡調整事業における実績分析について～
市内の包括では地域の実情に合わせた様々な取り組みが
すすめられている。
各包括における取り組みについて、訪問による聞き取りなど
をおこないながら実績とも交えて考察し、包括・ランチに参考
としていただけるように内容をフィードバックしていく。

**今年度も更なる包括の取り組み・実績の
把握に努めます。**

大阪市社会福祉協議会 福祉総括室 地域福祉課